2.4 信頼性

1

3

4

5

2

空調·換気設備

通信•情報設備

電気設備

給排水·衛生設備

機械,配管支持方法

CASBEE 広島 2016年版 (仮称)パークヒルズ高須 新築工事 ■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0) 実施設計段階 スコアシート 配慮項目 環境配慮設計の概要記入欄 全体 評価点 評価点 係数 係数 建築物の環境品質 2.8 Q1 室内環境 0.40 3.0 1 音環境 3.0 0.15 1.00 3.1 3.2 1.1 室内騒音レベル 3.0 3.0 0.50 0.50 1.2 遮音 3.0 0.50 3.4 0.50 開口部遮音性能 3.0 1.00 3.0 0.30 界壁遮音性能 0.30 2 3.0 遮音性能用フローリング採用 3 界床遮音性能(軽量衝擊源) 4.0 0.20 ボイドスラブ採用 4.0 0.20 界床遮音性能(重量衝擊源) 1.3 吸音 1.0 1.0 1.00 3.2 2 温熱環境 1.0 0.35 3.5 2.1 室温制御 1.0 0.50 5.0 0.63 1 室温 1.0 0.63 高性能断熱仕様、ガラス仕様 2 外皮性能 0.38 5.0 1.00 1.0 ゾーン別制御性 3 2.2 湿度制御 0.20 0.30 0.38 2.3 空調方式 1.0 1.0 2.7 0.25 3.2 3.1 3 光·視環境 1.00 3.1 昼光利用 3.0 0.30 3.5 0.50 昼光率 方位別開口 主たる居室に対する大型サッシの採用 3.0 0.60 0.50 1 4.0 2 3.0 0.30 3 昼光利用設備 3.0 0.40 3.0 0.20 3.2 グレア対策 1 昼光制御 2.0 0.30 3.0 0.50 2.0 3.0 1.00 1.00 3.3 照度 3.0 0.15 3.4 照明制御 3.0 0.25 4 空気質環境 3.0 0.25 2.7 1.00 2.7 4.1 発生源対策 3.0 0.60 3.0 0.63 化学汚染物質 3.0 1.00 3.0 1.00 3.0 0.40 2.3 4.2 換気 0.38 1 換気量 3.0 0.50 3.0 0.33 2 自然換気性能 1.0 0.33 3 取り入れ外気への配慮 3.0 0.50 3.0 0.33 4.3 運用管理 1 CO₂の監視 2 喫煙の制御 Q2 サービス性能 0.30 3.2 1機能性 2.3 0.40 3.8 1.00 3.6 1.1 機能性・使いやすさ 1.0 0.40 4.0 0.60 広さ・収納性 高度情報通信設備対応 住戸内LAN対応の配線、配管、光ケーブルの導入 2 1.00 4.0 3 バリアフリー計画 1 0 1.00 1.2 心理性・快適性 3.0 0.30 3.5 0.40 1 広さ感・景観 3.0 0.50 2 リフレッシュスペース 棟外モデルルームでの内装計画の確認 3 内装計画 3.0 1.00 4.0 0.50 1.3 維持管理 3.5 0.30 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 共用部の管理の容易な作業 0.50 4.0 3.0 0.50 2 耐用性・信頼性 2.8 0.30 2.8 2.1 耐震·免震·制震·制振 3.0 0.50 耐震性(建物のこわれにくさ) 1 3.0 0.80 2 免震·制震·制振性能 3.0 0.20 2.2 部品・部材の耐用年数 0.30 2.7 躯体材料の耐用年数 3.0 1 0.20 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 20 0.20 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.0 0.10 3 空調換気ダクトの更新必要間隔 4 0.10 3.0 空調・給排水配管の更新必要間隔 5 3.0 0.20 主要設備機器の更新必要間隔 3.0 0.20 6

2.6

3.0

3.0

3.0

1.0

3.0

0.20

0.20

0.20

0.20

0.20

0.20

1 章間のかとり 常高度は28m以上としている 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2	# th	生, 南蛇	杜		3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
日東の中とリ 2 世間の中は 1 世間の	l °			-		3.0	0.30			3.0
2 型型の形状 自由を 3.2 電池の砂とり 3.3 政債の受新性 1.2 総計水管の更新性 2.4 総計水管の更新性 3.0 0.20 3.2 電光の更新性 3.0 0.20 3		3.1			哗	-	-			
3.2 合理の学出行					竹回以たは4.311以上としている			-		
3.3 登録の更新性						-	-			
1 空話性帯の更新性 3.0 0.20 1.0						•	-	3.0	0.50	
2		3.3					1.00	-	-	
4 生物理の更新性 3.0 0.10 1 3.0 0.10 1 3.0 0.10 1 5.0 20 20 1 3.0 20 20 1 2 まちなか・景観への配置 3.0 0.20 1 2 まちなか・景観への配置 3.0 0.20 1 2 まちなか・景観への配置 3.0 0.40 1 3.0 0.20 1 2 まちなか・景観への配置 3.0 0.40 1 3.0 0.50 1 3.0 0.			1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
4 強症性部の更新性 3.0 0.10 3.0 0.20 - 1			2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
5 設備機関の更新性 3.0 0.20			3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機関の更新性 3.0 0.20						3.0	0.10		_	
6 パックアップスペースの落保 - 0.30 - 1 生物理がの保全を開出 1.0 0.30 - 1 生物理がの保全を開出 1.0 0.30 - 1 生物理がの保全を開出 2.5 0.30 - 3 地域性・アベニティへの配置 2.5 0.30 - 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2									_	
3									-	
1 生物理の保全を開出	-							•	-	0.0
2 まちなか-養養への配置								l		2.2
3 地域性・アルニティへの配度 2.5 0.30 3.1 地域性・アルニ県 特別性の向上 2.0 0.50 3.2 単地内温原理域の向上 2.0 0.50 2.1 土木の子 0.40 1 董物外及の最美有幹剤 高性蛇の基準を満たしている 5.0 0.20 2 自然エネルギー利用 3.0 0.10 3 数章ンステムの高効率化 DEUIDEIM 0.75 5.0 0.50 4 効率的漏用 3.0 0.00 4 地本学学科 4 モータリング 4 日 モータリング 4 日 モータリング 4 日 モータリング	1	生物理	景境の保	呆全と創出 ニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1.0	0.30	•	-	1.0
3.1 地域性への配慮、技術性の向上 3.0 0.50	2	まちな	いま	関への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3.2 敷性内温熱環内の向上 R1 エネルギー	3	地域性	生・アメニ	ニティへの配慮		2.5	0.30	•	-	2.5
3.2 敷性内温熱環内の向上 R1 エネルギー		3.1	地域性	よくない はんしゅう はんしゅ はんしゅう はんしゅう はんしゅん は		3.0	0.50		-	
R								_	_	
IRI エネルギー利用	1.0					2.0				2.7
1 無物水皮の飲食者物制 当性地外皮の飲食者の利用 30 0.10 1.0 1.0 1.0 3				^限 現員何心滅江						3.7
2 自然エネルギー利用 3.0 0.10 0.50 0.50 0.50 0.50 0.50 0.50 0.						_		-		4.4
3 数色 ステムの高効率化 (BEI (BEIm) 0.75 5.0 0.50					局性能の基準を満たしている	5.0	0.20	٠	-	5.0
4 効率的運用 3.0 0.20 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2	自然コ	エネルキ	一利用		3.0	0.10	-	-	3.0
4 効率的運用 3.0 0.20 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3	設備シ	ンステム	の高効率化	[BEI][BEIm]: 0.75	5.0	0.50	-	-	5.0
# 会合生宅以外の評価					-	3.0			-	3.0
# 1 モニタリング	1			字以外の評価			5.20		_	0.0
42 選用管理体制									-	
集合住宅の評価 3.0 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00							-		-	
1.						-	-	-	-	
1						3.0	1.00	-	-	
RP			4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
RP						3.0	0.50		-	
1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 3.0 0.60 - 1 1 雨水利用・雑排水等の利用 3.0 0.60 - 2 2 離豚水等利用システム導入の有無 3.0 0.70 - 3.0 0.30 0.20	I P2	答语.	_					-		3.1
1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1.1 南水利用・雑排水等の利用 1.1 南水利用・雑排水等の利用 1.1 南水利用・経排水等利用ンステム導入の有無 2.1 材料使用量の削減 3.0 0.70										3.4
1.2 南水利用・雑排水等の利用					たウシボーセンス体温機器 体を機能の採用			•	-	3.4
雨水利用システム導入の有無 3.0 0.70 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.30 - 3.0 0.20 -				1 m + 4 H 1 1 M = 21 m	工七畝哺にのいて即海城布、即水城布の採用				-	
2 解排水等利用システム導入の有無 2 非再生性資源の使用量削減 3.0 0.30		1.2	雨水利	川用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減 3.1 0.60 - 2.1 材料使用量の削減 3.0 0.10 - 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 躯体材料いた能力もプリナイクル材の使用 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 3.0 0.20 - 3 汚染物質含有材料の使用回避 3.0 3.0 0.20 - 3.1 有害物質を含まない材料の使用回避 1.6 の次の 2.2 発泡剤(断熱材等) 3.0 3.0 0.20 - 3.2 プロン・ハロンの回避 1. 消火剤 2. 発泡剤(断熱材等) 3.0 3.0 0.33 - - 1 海火剤 3. 冷線 4. 小の配慮 2. 生域環境への配慮 2. 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.33 - -			1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2.1 材料使用量の削減 3.0 0.10 - 2.2 既存建築躯体等の継続使用 3.0 0.20			2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2.1 材料使用量の削減 3.0 0.10 - 2.2 既存建築躯体等の継続使用 3.0 0.20	2	非再4	+性資源	原の使用量削減		3.1	0.60	-	-	3.1
2.2 既存建築躯体等の継続使用	_					3.0	0.10		_	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 3.7 発物質含有材料の使用回避 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤										
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.0 0.10 - -									-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.0 0.10 3.0 0.20 - 3 万染物質含有材料の使用回避 3.0 0.20 - 3 3 3 3 3 3 3 3 3					_				-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 3.0 0.20 3 万染物質含有材料の使用回避 3.0 0.20 3.1 有害物質を含まない材料の使用 2.6 0.70		2.4	躯体材	料以外におけるリサイクル材の使用	タイル、スタイロフォーム	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避 3.0 0.20 -		2.5	持続可	「能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
3.1 有害物質を含まない材料の使用		2.6	部材の	再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20		-	
3.1 有害物質を含まない材料の使用	3	污染物	物質含有	有材料の使用回避		3.0	0.20		-	3.0
3.2 フロンハロンの回避	l				F☆☆☆☆性能の材料を採用	-		-		
1 消火剤										
2 発泡剤(断熱材等) 3.0 0.33 - 0.30 - 0.30 1 1 地球湿暖化への配慮 4.9 0.33 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2		3.2							-	
Texa 数地外環境									-	
1 地球温暖化への配慮							0.33	•	-	
1 地球温暖化への配慮 4.9 0.33 - 2 地域環境への配慮 3.0 0.33 - 2.1 大気汚染防止 3.0 0.25 - 2.2 温熱環境悪化の改善 3.0 0.50 - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 交通負荷抑制 数地内に住戸分の自動車、駐輪施設の台数確保、それぞれの車 4.0 0.25 - 3 周辺環境への配慮 2.7 0.33 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音 3.0 0.40 - 2 振動 - - - 3 悪臭 - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1.6 0.40 - 1 風害の抑制 1.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 - - -			3	冷媒		3.0	0.33		-	
1 地球温暖化への配慮 4.9 0.33 - 2 地域環境への配慮 3.0 0.33 - 2.1 大気汚染防止 3.0 0.25 - 2.2 温熱環境悪化の改善 3.0 0.50 - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 交通負荷抑制 数地内に住戸分の自動車、駐輪施設の台数確保、それぞれの車 4.0 0.25 - 3 周辺環境への配慮 2.7 0.33 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音 3.0 0.40 - 2 振動 - - - 3 悪臭 - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1.6 0.40 - 1 風害の抑制 1.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 - - -	LR3	敷地	外環境			_	0.30	-	-	3.5
2 地域環境への配慮 3.0 0.33 - 2.1 大気汚染防止 3.0 0.25 - 2.2 温熱環境悪化の改善 3.0 0.50 - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 交通負荷抑制 数地内に住戸分の自動車、駐輪施設の台数確保、それぞれの車 4.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 2.7 0.33 - - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 3.0 0.40 - - 2 振動 - - - - - 3 悪臭 - - - - - - 3 悪臭 - </td <td>1</td> <td>地球温</td> <td>温暖化/</td> <td>への配慮</td> <td></td> <td>4.9</td> <td>0.33</td> <td></td> <td>-</td> <td>4.9</td>	1	地球温	温暖化/	への配慮		4.9	0.33		-	4.9
2.1 大気汚染防止 3.0 0.25 - - 2.2 温熱環境悪化の改善 3.0 0.50 - - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.25 - - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - - 3 交通負荷抑制 数地内に住戸分の自動車、駐輪施設の台数確保、それぞれの車 4.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 2.7 0.33 - - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 3.0 0.40 - - 2 振動 - - - - - 3 悪臭 - - - - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1.6 0.40 -						3.0			-	3.0
2.2 温熱環境悪化の改善 3.0 0.50 - - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.25 - 1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 反通負荷抑制 数地内に住戸分の自動車、駐輪施設の台数確保、それぞれの車 4.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25 - - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 3.0 1.00 - - 2 振動 - - - - - 3 悪臭 - - - - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1.6 0.40 -	_								_	
2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.25 - 1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 数地内に住戸分の自動車、駐輪施設の台数確保、それぞれの車 4.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25 - 3 周辺環境への配慮 2.7 0.33 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音 3.0 1.00 - 2 振動 - - - 3 悪臭 - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1.6 0.40 - 1 風害の抑制 1.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 1.0 - -										
1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 敷地内に住戸分の自動車、駐輪施設の台数確保、それぞれの車 4.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25 - 3 周辺環境への配慮 2.7 0.33 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音 3.0 1.00 - 2 振動 3 - - - 3 悪臭 - - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1.6 0.40 - - 2 砂塵の抑制 1.0 - - -									-	
2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 交通負荷抑制 敷地内に住戸分の自動車、駐輪施設の台数確保、それぞれの車 4.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 2.7 0.33 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音 3.0 1.00 - 2 振動 - - - 3 悪臭 - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1.6 0.40 - 1 風害の抑制 1.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 1.0 - -		2.3							-	
3 交通負荷抑制 敷地内に住戸分の自動車、駐輪施設の台数確保、それぞれの車 4.0 0.25									-	
4 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25 * - 3 周辺環境への配慮 2.7 0.33 * - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 * - 1 騒音 3.0 1.00 * - 2 振動 3 悪臭 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1.6 0.40 * - 1 風害の抑制 1.0 0.70 * - 2 砂塵の抑制 1.0 -			2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	•	-	
3 周辺環境への配慮 2.7 0.33 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 3.0 1.00 - - 2 振動 - - - - 3 悪臭 - - - - 1 風害の抑制 1.6 0.40 - - 2 砂塵の抑制 1.0 - - -			3	交通負荷抑制	敷地内に住戸分の自動車、駐輪施設の台数確保、それぞれの車	4.0	0.25	•	-	
3 周辺環境への配慮 2.7 0.33 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 3.0 1.00 - - 2 振動 - - - - 3 悪臭 - - - - 1 風害の抑制 1.6 0.40 - - 2 砂塵の抑制 1.0 - - -			4	廃棄物処理負荷抑制	- \ - \-	2.0	0.25	-	-	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 3.0 1.00 - - 2 振動 - - - - 3 悪臭 - - - - 1 風害の抑制 1.6 0.40 - - 2 砂塵の抑制 1.0 - - -	3	周辺を	•						_	2.7
1 騒音 3.0 1.00 - - 2 振動 - - - - 3 悪臭 - - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1.6 0.40 - - 1 風害の抑制 1.0 0.70 - - 2 砂塵の抑制 1.0 - - -	Ĭ					_		_		
2 振動		0.1								
3 悪臭									-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1.6 0.40 - - 1 風害の抑制 1.0 0.70 - - 2 砂塵の抑制 1.0 - - -						1 -	-	•	-	
1 風害の抑制 1.0 0.70 - - - 2 砂塵の抑制 1.0 - - -							-	-	-	
2 砂塵の抑制			風害、	砂塵、日照阻害の抑制		1.6	0.40	•	-	
2 砂塵の抑制		3.2	1	風害の抑制		1.0	0.70		-	
		3.2			1	4.6	-			
		3.2		妙塵の抑制						
		3.2	2				0.30	-	_	
			3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
			2 3 光害の	日照阻害の抑制)抑制	実田性のある昭田計画の宝笠	3.0 4.4	0.20	-	- -	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策 3.0 0.30 -			2 3 光害の	日照阻害の抑制 抑制 ^{屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策}	実用性のある照明計画の実施	3.0 4.4 5.0	0.20 0.70		- - -	